

事業名 **青年センター改修整備事業**

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	市民スポーツ活動の充実	基本事業	スポーツ・レクリエーション施設の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	青年センター
意図	施設を良好な状態に保つことにより、スポーツ活動の場が確保される。
手段	昭和47年1月に建設され、施設の老朽化が進む中、安全かつ快適に市民がスポーツに親しむことのできるよう、施設の改修整備工事を行う。指定管理者が施設の管理運営を行っている。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	敷地面積	m <sup>2</sup>	5,369	5,369	5,369	5,369	
対象指標2	床面積	m <sup>2</sup>	3,567	3,567	3,567	3,567	
活動指標1	整備箇所数	箇所	0	0	0	1	
活動指標2							
成果指標1	年間体育館等利用者数	人	58,010	59,266	56,500	56,500	
成果指標2	年間プール利用者数	人	49,671	47,766	57,000	57,000	
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	0	0	0	17,567	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	407	0
<b>総事業費(A)+ (B)</b>		千円	0	0	0	17,974	0

**事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)**  
 青年センター体育館の暖房設備は、老朽化に伴い故障が多発するほか、暖房能力も低下していることから、利用者サービスの向上のため、全面改修を行う。

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			